

令和4年度

岩手県一般会計

当初予算要求の概要

令和3年12月

岩手県

## 目 次

1	令和4年度当初予算要求の概要	1
2	政策企画部	2
3	総務部	3
4	復興防災部	4
5	ふるさと振興部	6
6	文化スポーツ部	8
7	環境生活部	9
8	保健福祉部	10
9	商工労働観光部	13
10	農林水産部	14
11	県土整備部	17
12	I L C推進局	19
13	警察本部	20
14	教育委員会	21
15	各局・各委員会	23
16	広域振興局	24

# 令和4年度当初予算要求の概要

【お問い合わせ先】  
 財政課（予算担当）  
 岩間・工藤  
 電話：019-629-5091

（単位：百万円、％）

県では、現在、令和4年度当初予算の編成作業を進めていますが、各部局より総務部財政課へ提出された令和4年度当初予算要求の概要を取りまとめましたので公表します。

予算要求額は、今後の国の予算編成の動向や外部環境の変化、更なる事業内容の充実・精査等により、変更されることがあります。

## （留意事項）

- 右記金額は、各部局から令和3年11月19日に提出された予算要求額について整理したものです。  
2月県議会定例会への提案に向けて、今後、予算編成作業を進めてまいります。
- 各項目について、表示単位未満を四捨五入しておりますので、内訳と合計は一致しない場合があります。
- 新型コロナウイルス感染症対策の事業予算については、今後調整を予定していることから、「令和4年度当初予算要求額①」、「令和3年度当年度当初予算額②」のいずれにも含まれておりません。

部局名	令和4年度当初 予算要求額①	令和3年度当初 予算額②	増減額 ③＝①－②	増減率 ③／②×100
	うち震災対応分	うち震災対応分	うち震災対応分	うち震災対応分
政策企画部	777	767	10	1.3
	9	12	△ 3	△ 24.6
総務部	166,699	167,231	△ 532	△ 0.3
	826	963	△ 137	△ 14.2
復興防災部	2,273	3,360	△ 1,088	△ 32.4
	847	1,793	△ 945	△ 52.7
ふるさと振興部	17,132	16,507	625	3.8
	310	344	△ 34	△ 9.9
文化スポーツ部	4,166	4,528	△ 362	△ 8.0
	1	13	△ 12	△ 92.1
環境生活部	11,853	10,688	1,165	10.9
	91	261	△ 170	△ 65.0
保健福祉部	141,201	132,892	8,309	6.3
	886	1,349	△ 464	△ 34.4
商工労働観光部	75,678	91,953	△ 16,276	△ 17.7
	37,603	53,381	△ 15,778	△ 29.6
農林水産部	52,351	56,043	△ 3,692	△ 6.6
	1,400	1,228	173	14.1
県土整備部	78,060	62,465	15,595	25.0
	3,837	5,278	△ 1,441	△ 27.3
ILC推進局	240	247	△ 7	△ 2.8
	111	101	10	9.5
警察本部	28,737	30,648	△ 1,911	△ 6.2
	—	—	—	—
教育委員会	129,654	133,383	△ 3,729	△ 2.8
	1,796	2,012	△ 216	△ 10.7
各局・委員会等	3,862	3,915	△ 53	△ 1.4
	4	4	0	2.3
合計	712,681	714,625	△ 1,944	△ 0.3
	47,722	66,739	△ 19,017	△ 28.5

# 令和4年度 当初予算要求の概要（政策企画部）

【照会先（担当室課）】  
秘書課（管理担当）  
電話：019-629-5506

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算(要求額)	776.5	766.5	10.0	1.3
うち震災対応分	9.2	12.2	△3.0	△24.6

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

政策企画部では、次の事項を重点施策と位置付け、予算要求を行っています。

- ・各部局と連携した10の政策分野やプロジェクトに掲げる取組の実施、政策評価制度に基づく評価結果の施策への適切な反映などによる、「いわて県民計画(2019～2028)」の着実な推進
- ・「復興に取り組む岩手の姿」や「岩手の魅力」の発信を通じ、震災の風化防止と復興への継続的な支援、岩手のイメージアップにつなげる広報の展開

## 3. 主な事業内容

### ① 通常分

- ・総合計画推進費 9.1百万円【R3当初予算額:9.5百万円(△0.4百万円)】

「いわて県民計画(2019～2028)」の推進に関する重要事項などを審議するため、岩手県総合計画審議会を開催します。

- ・政策評価推進費 8.6百万円【R3当初予算額:8.9百万円(△0.3百万円)】

政策評価の実施や施策への適切な反映のため、政策評価委員会の開催や県民の幸福感に関する分析等を実施します。

- ・いわて広報事業費(いわてグラフ・広報媒体購入) 89.1百万円【R3当初予算額:100.6百万円(△11.5百万円)】

県の重要施策や復興の状況、生活関連情報等を県民に分かりやすく伝えるため、「いわてグラフ」の発行やテレビ、ラジオ等を活用した広報を実施します。

### ② 震災対応分

- ・いわて情報発信強化事業費 7.6百万円【R3当初予算額:7.8百万円(△0.2百万円)】

「復興に取り組む岩手の姿」と「岩手の魅力」を発信し、震災を風化させず、復興への継続的な支援につなげる広報を展開します。

(注)R4年度当初予算要求額は、部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となる場合があります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（総務部）

【照会先（担当室課）】  
総務室（管理担当）  
電話：019-629-5033

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算（要求額）	166,699.3	167,231.0	△531.7	△0.3
うち震災対応分	826.1	962.9	△136.8	△14.2

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

総務部では、次の事項を重点施策と位置付け、予算要求を行っています。

- ・多様な働き方や業務効率化、県民サービスの向上に資する庁内DXの推進
- ・若手・女性職員の活躍支援など高度な行政経営を支える職員の能力向上

## 3. 主な事業内容

### ① 通常分

- ・いわて情報ハイウェイ推進費 457.9百万円【R3当初予算額:116.3百万円（+341.6百万円）】 [一部新規]  
県の広域ネットワークシステム「いわて情報ハイウェイ」の更新及び運用保守を実施します。
- ・情報化設備整備費 68.4百万円【R3当初予算額:14.7百万円（+53.7百万円）】 [一部新規]  
AIやRPAなどのICTを活用し、業務効率化や県民サービス向上を推進します。
- ・電子県庁運営費 668.3百万円【R3当初予算額:841.0百万円（△172.7百万円）】 [一部新規]  
県の行政基幹業務システムやセキュリティクラウド、モバイル閉域網の運用保守等を実施します。
- ・職員研修費 91.9百万円【R3当初予算額:92.3百万円（△0.4百万円）】  
若手職員や女性職員等を中心に資質向上を図るため研修を実施します。

（注）R4年度当初予算要求額は、部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となることがあります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（復興防災部）

【照会先（担当室課）】  
復興危機管理室（企画担当）  
電話：019-629-6925

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算（要求額）	2,272.5	3,360.0	△1,087.5	△32.4
うち震災対応分	847.3	1,792.6	△945.3	△52.7

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

復興防災部では、次の事項を重点施策と位置付け、予算要求を行っています。

- ・東日本大震災津波や近年の各種災害における経験・教訓を踏まえた消防防災体制の整備・強化
- ・被災者一人ひとりの生活の再建と地域コミュニティの再生・活性化
- ・東日本大震災津波の事実を踏まえた教訓の伝承と復興の姿を国内外に発信

## 3. 主な事業内容

### ① 通常分

- ・**地域防災力強化プロジェクト事業費 43.2百万円【R3当初予算額:52.4百万円(△9.2百万円)】**

自主防災組織の組織化・活性化等に取り組むとともに、市町村が行う消防団員の確保などへの支援を行います。

- ・**性犯罪等被害者支援事業費 11.3百万円【R3当初予算額:7.0百万円(+4.3百万円)】**

「はまなすサポート」により、性犯罪・性暴力被害者に被害直後からの医療、相談、法的支援等の総合的な支援を行います。

### ② 震災対応分

- ・**広域防災拠点設備等整備費 13.1百万円【R3当初予算額:11.6百万円(+1.5百万円)】[一部新規]**

大規模災害に備えた防災体制を構築するため、広域防災拠点への食糧等の備蓄を推進するとともに、広域防災拠点配置計画等の見直しを進めます。

- ・**被災者生活支援事業費 40.3百万円【R3当初予算額:40.2百万円(+0.1百万円)】**

いわて被災者支援センターにおいて、恒久的な住宅へ移行した後においても経済面や生活設計などの多様な課題を抱える被災者を支援します。

- ・**被災地コミュニティ支援コーディネート事業費 11.6百万円【R3当初予算額:15.2百万円(△3.6百万円)】**

被災者の生活再建先におけるコミュニティ形成が円滑に進むよう、関係機関の調整役となるコーディネーターを配置するなど、市町村を支援します。

## ② 震災対応分

### ・地域基幹産業人材確保支援事業費 24.0百万円【R3当初予算額:16.8百万円(+7.2百万円)】

被災地の基幹産業である水産加工業の労働力不足解消に向け、事業者による宿舍の整備や職場環境整備などを支援します。

### ・沿岸地域起業者等成長支援事業費 12.0百万円【R3当初予算額:11.6百万円(+0.4百万円)】

被災地において新たなビジネスを立ち上げた事業者等の成長を支援するため、商工団体による経営指導などを実施します。

### ・復興情報発信事業費 25.4百万円【R3当初予算額:22.3百万円(+3.1百万円)】 [一部新規]

復興フォーラムの開催や東日本大震災津波伝承館を拠点とした事実・教訓の伝承発信、国内外へのいわての復興情報の発信に取り組みます。

### ・震災津波関連資料収集・活用等推進事業費 46.4百万円【R3当初予算額:5.5百万円(+40.9百万円)】 [一部新規]

「いわて震災津波アーカイブ～希望～」のシステム改修を行うとともに、震災津波関連の記録を蓄積し、その活用を促進します。

(注)R4年度当初予算要求額は、部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となることがあります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（ふるさと振興部）

【照会先（担当室課）】  
ふるさと振興企画室（企画担当）  
電話：019-629-5215

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算（要求額）	17,131.9	16,506.5	625.4	3.8
うち震災対応分	310.2	344.4	△34.2	△9.9

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

ふるさと振興部では、次の事項を重点施策と位置付け、予算要求を行っています。

- ・デジタル社会の実現に向けたDXの推進
- ・地域資源を活用した県北・沿岸振興の推進
- ・関係人口創出・拡大の推進や地域コミュニティの活性化
- ・公共交通の維持・確保と利用促進
- ・公立大学法人岩手県立大学における地域の未来創造に貢献するための取組への支援
- ・多様なニーズに応じた特色ある私学教育の推進

## 3. 主な事業内容

### ① 通常分

#### ・いわてデジタル化推進費 76.3百万円【R3当初予算額:12.4百万円(+63.9百万円)】[一部新規]

本県におけるデジタル社会の実現に向け、産学官金が連携したDXの取組の推進やデジタル人材の育成等を実施します。

#### ・北いわてプラチナシティ推進事業費 17.3百万円 [新規]

産学官連携のコンソーシアムを中心に、北いわての地域課題に対応する産業振興と社会づくりを一体的に推進するための取組を行います。

#### ・新しい三陸交流促進費 6.7百万円【R3当初予算額:2.0百万円(+4.7百万円)】[一部新規]

三陸地域を、持続的に「防災を学習する場」とする仕組みづくりを推進し、交流人口の拡大に取り組めます。



## ① 通常分

### ・活力ある小集落支援推進事業費 8.4百万円【新規】

地域の集落活動、担い手不足を支援するため、外部から人を呼び込み、関係人口の拡大に資する取組を実施します。

### ・北上川バレープロジェクト推進事業費 9.7百万円【R3当初予算額:10.1百万円(△0.4百万円)】【一部新規】

アドバイザーボードや構成市町との連携により、北上川バレーをより一層「働きやすく、暮らしやすい」エリアとする取組を促進します。

### ・公立大学法人岩手県立大学運営費交付金 3,749.0百万円【R3当初予算額:3,801.0百万円(△52.0百万円)】

岩手県立大学の円滑な運営を確保するため、同大学に運営費交付金を交付し、地域の未来創造に貢献するための取組を支援します。

### ・私立学校運営費補助 3,428.8百万円【R3当初予算額:3,381.0百万円(+47.8百万円)】

私立学校の安定的な教育環境の確保を図るため、学校運営に要する経費の一部を補助し、特色ある私学教育の推進に向けた取組を支援します。

## ② 震災対応分

### ・被災地通学支援事業費補助 93.8百万円【R3当初予算額:104.5百万円(△10.7百万円)】

「いわての学び希望基金」を活用し、被災地において、公共交通機関が実施する高校生等への通学費用の負担軽減支援に要する経費を補助します。

### ・私立学校被災児童生徒等就学支援事業費補助 50.1百万円【R3当初予算額:58.8百万円(△8.7百万円)】

被災により就学等が困難となった私立学校の児童生徒等の負担軽減を図るため、学校法人等が行う授業料等の減免に要する経費の一部を補助します。

(注)R4年度当初予算要求額は、部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となる場合があります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（文化スポーツ部）

【照会先（担当室課）】  
文化スポーツ企画室（企画担当）  
電話：019-629-6294

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算（要求額）	4,166.2	4,528.3	△362.1	△8.0
うち震災対応分	1.0	12.7	△11.7	△92.1

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

文化スポーツ部では、次の事項を重点施策と位置付け、予算要求を行っています。

- ・文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会の拡充
- ・文化芸術・スポーツを担う人材の育成
- ・文化芸術・スポーツを生かした地域づくりの推進
- ・世界遺産の保存と活用の促進及び民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進

## 3. 主な事業内容

### ① 通常分

- ・岩手芸術祭開催費 14.8百万円【R3当初予算額:14.8百万円(0.0百万円)】

県民の優れた文化芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供するため、本県最大の文化芸術の祭典「岩手芸術祭」を開催します。

- ・いわてアール・ブリュット魅力発信事業費 8.5百万円【R3当初予算額:9.2百万円(△0.7百万円)】 [一部新規]

障がい者芸術作品に対する創作意欲を高めるとともに、広く関心・理解を醸成するため、県内外において展覧会等を開催します。

- ・日本スポーツマスターズ2022開催準備費 79.5百万円【R3当初予算額:6.4百万円(+73.1百万円)】

競技団体や会場市町と連携した受入態勢を整備し、「日本スポーツマスターズ2022岩手大会」を開催します。

- ・特別国民体育大会冬季大会スキー競技会開催準備費 235.2百万円【R3当初予算額:48.0百万円(+187.2百万円)】

競技施設整備の支援のほか、競技団体や八幡平市と連携した受入態勢を整備し、「特別国民体育大会冬季大会スキー競技会」を開催します。

（注）R4年度当初要求額は、部局から提出された予算要求額等であり、今後、事業内容の精査等により変更となることがあります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（環境生活部）

【照会先（担当室課）】  
環境生活企画室（企画担当）  
電話：019-629-5384

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算（要求額）	11,853.1	10,688.0	1,165.1	10.9
うち震災対応分	91.2	260.9	△169.7	△65.0

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

環境生活部では、次の事項を重点施策と位置付け、予算要求を行っています。

- ・循環型地域社会の形成に向けた取組の推進
- ・グリーン社会の実現に向けた取組の推進
- ・男女共同参画や、若者・女性が活躍できる社会の実現に向けた取組の推進

## 3. 主な事業内容

### ① 通常分

- ・**ゼロカーボン推進事業費（県有施設脱炭素化推進事業費） 11.5百万円【新規】**  
「温室効果ガス排出量2050年実質ゼロ」を達成するため、県有施設の脱炭素化の取組を実施します。
- ・**産業廃棄物処理施設整備事業促進費 1,967.4百万円【R3当初予算額：744.8百万円（+1,222.6百万円）】**  
いわてクリーンセンターの後継となる、公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場の整備等を行います。
- ・**指定管理鳥獣捕獲等事業費（シカ・イノシシ捕獲対策） 235.7百万円【R3当初予算額：166.5百万円（+69.2百万円）】【一部新規】**  
シカ及びイノシシの生息域の拡大等に対応するため、捕獲等を実施するとともに、新たに効果的な捕獲方法の導入に向けた取組を実施します。

### ② 震災対応分

- ・**再生可能エネルギー導入促進事業費 22.4百万円【R3当初予算額：19.5百万円（+2.9百万円）】**  
災害時にも地域で一定のエネルギーを賄うことができる体制の構築に向け、被災家屋等への太陽光発電の導入等を支援します。

（注）R4年度当初予算要求額は、部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となることがあります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（保健福祉部）

【照会先（担当室課）】  
保健福祉企画室（企画担当）  
電話：019-629-5412

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算（要求額）	141,200.9	132,892.1	8,308.8	6.3
うち震災対応分	885.5	1,349.2	△463.7	△34.4

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

保健福祉部では、次の事項を重点施策と位置付け、予算要求を行っています。

- ・東日本大震災津波被災者等の支援
- ・地域の保健医療体制の確立
- ・家庭や子育てに希望を持ち安心して子供を産み育てられる環境の整備
- ・福祉コミュニティの確立

## 3. 主な事業内容

### ① 通常分

- ・**重層的支援体制整備事業費 155.6百万円【R3当初予算額：46.4百万円（+109.2百万円）】**

複雑化、複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、市町村における重層的支援体制整備事業の実施を支援します。

- ・**生活福祉資金貸付事業推進費補助 42.7百万円【R3当初予算額：43.2百万円（△0.5百万円）】**

低所得世帯等の生活支援のため、県社会福祉協議会が行う生活福祉資金の貸付に要する経費を補助します。

- ・**生活困窮者自立支援事業費 113.5百万円【R3当初予算額：106.0百万円（+7.5百万円）】** [一部新規]

生活困窮者の自立を支援するため、相談窓口を設置し就労準備支援や家計改善支援、子どもの学習・生活支援等に取り組みます。

- ・**介護人材確保事業費 28.6百万円【R3当初予算額：28.6百万円（0.0百万円）】**

介護人材確保のため、介護分野への人材の参入促進、介護事業所の労働環境の改善や職員の資質向上の取組を推進します。

## ① 通常分

### ・地域包括ケアシステム基盤確立事業費 21.9百万円【R3当初予算額:22.2百万円(△0.3百万円)】

地域包括ケアシステムの構築に向け、市町村の取組の円滑な実施と安定的な運営を確保するため、関係団体と連携を図り、市町村等を支援します。

### ・里親委託促進事業費 31.6百万円【R3当初予算額:7.3百万円(+24.3百万円)】[一部新規]

里親の新規開拓から里子とのマッチング支援、里親宅への家庭訪問による相談支援等の取組を推進します。

### ・いわての子育て支援情報発信事業費 2.4百万円【R3当初予算額:9.5百万円(△7.1百万円)】

令和3年度に構築する子育てポータルサイト・アプリを活用し、県や市町村の子育て支援情報についてプッシュ型情報発信の取組を推進します。

### ・岩手であい・幸せ応援事業費 44.5百万円【R3当初予算額:36.2百万円(+8.3百万円)】[一部新規]

“いきいき岩手”結婚サポートセンターの運営による出会いの場づくりなどにより、出会いや結婚を希望する県民を総合的に支援します。

### ・いわてで家族になろうよ未来応援事業費 50.9百万円【R3当初予算額:78.9百万円(△28.0百万円)】

県民の結婚の後押しや定住の促進のため、市町村が行う新婚世帯への引っ越し費用や新居の取得費用への補助に要する経費を補助します。

### ・ヤングケアラー支援体制強化事業費 11.0百万円【新規】

ヤングケアラーの実態把握による早期発見と必要な支援につなげるため、福祉、介護、医療、教育等が連携した包括的な取組を推進します。

### ・医療的ケア児支援センター管理運営費 23.5百万円【新規】

「医療的ケア児支援センター」を設置し、医療的ケア児とその家族に対する支援の充実強化の取組を推進します。

### ・ひとり親家庭等総合相談支援事業費 11.3百万円【R3当初予算額:10.6百万円(+0.7百万円)】

支援を必要とするひとり親家庭に、必要なサービスを確実に提供するため、全県的な関係機関等の連携による包括的な相談支援の取組を推進します。

### ・母子保健対策費 657.0百万円【R3当初予算額:635.0百万円(+22.0百万円)】

不妊等に対する相談・指導や、小児慢性特定疾病児童等に対する医療給付を行うとともに、総合周産期母子医療センター等の運営に要する経費に対する助成やハイリスク妊産婦に対する交通費の助成等により周産期医療体制の充実に取り組みます。

### ・循環器病等予防緊急対策事業費 17.7百万円【新規】

健康寿命を延伸するため脳卒中などの循環器病等の発症予防、早期発見、重症化予防に関する取組を推進します。

## ① 通常分

### ・医師確保対策費 1,280.3百万円【R3当初予算額:1,232.7百万円(+47.6百万円)】

医師の確保を図るため、岩手医科大学医学部地域枠特別推薦入学者に対して修学資金の貸付けを行うほか、自治医科大学、岩手県国民健康保険団体連合会等が行う医師養成事業に対して助成するとともに、県外在住医師への訪問活動等に取り組み、即戦力となる医師の招聘に取り組みます。

### ・救急医療対策費 831.9百万円【R3当初予算額:837.7百万円(△5.8百万円)】 [一部新規]

救急医療の確保充実を図るため、県立病院が行う病院群輪番制病院の運営や岩手県高度救命救急センターの運営等に要する経費に対して補助するとともに、小児救急医療体制の整備、ドクターヘリの運航等を総合的に推進します。

### ・健幸づくりプロジェクト推進費 9.9百万円 [新規]

県独自の医療等ビックデータ利活用システムを活用した市町村支援や健康づくりに向けた県民の行動変容を促す情報発信など健康寿命の延伸に向けた具体的な取組を推進します。

## ② 震災対応分

### ・生活福祉資金貸付事業推進費補助 291.6百万円【R3当初予算額:378.6百万円(△87.0百万円)】

社会福祉協議会が生活支援相談員を配置し、被災者の見守りや、相談支援等の実施に要する経費を補助します。

### ・児童養育支援ネットワーク事業費 57.4百万円【R3当初予算額:59.0百万円(△1.6百万円)】

被災児童を支援するため、こころのケアや、里親等の養育者や支援者への相談支援、研修を実施します。

### ・被災地発達障がい児支援体制整備事業費 24.8百万円【R3当初予算額:23.9百万円(+0.9百万円)】

沿岸地域に専門職員(コーディネーター)を配置し、被災した発達障がい児(者)の障がい福祉サービス等の利用を支援します。

### ・被災地こころのケア対策事業費 411.3百万円【R3当初予算額:411.4百万円(△0.1百万円)】

被災者の精神的負担軽減のため「県こころのケアセンター」及び「地域こころのケアセンター」を運営し、長期にわたる継続した専門的ケアを実施します。

(注)R4年度当初予算要求額は、部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となる場合があります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（商工労働観光部）

【照会先（担当室課）】  
商工企画室（企画担当）  
電話：019-629-5558

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算（要求額）	75,677.7	91,953.2	△16,275.5	△17.7
うち震災対応分	37,603.0	53,380.8	△15,777.8	△29.6

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

商工労働観光部では、次の事項を重点施策と位置付け、予算要求を行っています。

- ・岩手で暮らす魅力の向上による移住・定住の促進
- ・地域経済を支える中小企業の振興
- ・沿岸地域の暮らしの再建となりわいの再生

## 3. 主な事業内容

### ① 通常分

- ・**いわて移住・定住促進事業費 29.3百万円【R3当初予算額:33.9百万円（△4.6百万円）】**

相談窓口の運営やイベントの開催など、市町村と連携し、全県的な移住推進に取り組みます。

- ・**中小企業デジタル化支援ネットワーク事業費 3.6百万円【新規】**

商工団体や支援機関等が相互に連携する中小企業のデジタル化に向けた伴走支援体制の構築に取り組みます。

- ・**三陸観光地域づくり推進事業費 20.2百万円【R3当初予算額:22.6百万円（△2.4百万円）】**

三陸DMOセンターと連携し、三陸地域の観光情報の発信や観光資源を生かした周遊型滞在の仕組みづくりに取り組みます。

### ② 震災対応分

- ・**中小企業等復旧・復興支援事業費 399.5百万円【R3当初予算額:3,103.6百万円（△2,704.1百万円）】**

被災事業者が連携して復旧・復興を目指す取組に対し、必要な施設等の復旧・整備に要する経費を補助します。

（注）R4年度当初予算要求額は、部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となる場合があります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（農林水産部）

【照会先（担当室課）】  
農林水産企画室（予算担当）  
電話：019-629-5624

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算（要求額）	52,351.2	56,043.0	△3,691.8	△6.6
うち震災対応分	1,400.1	1,227.6	172.5	14.1

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

農林水産部では、次の事項を重点施策と位置付け、予算要求を行っています。

- ・意欲と能力のある経営体の育成と効率的で高収益な農林水産業の実現
- ・需要に応じた米生産の推進と県産米の需要拡大、全国和牛能力共進会の上位入賞に向けた取組の推進
- ・適切な森林整備等の推進と県産木材の利用促進
- ・海洋環境の変化等に対応した水産資源の持続的利用と養殖生産量の維持増大

## 3. 主な事業内容

### ① 通常分

- ・いわて農林水産業6次産業化推進事業費 7.0百万円【R3当初予算額:5.5百万円(+1.5百万円)】

地域ぐるみの6次産業化を促進するため、生産者と商工業者等が連携して行う特産品開発や販路拡大等の取組を支援します。

- ・いわてニューファーマー支援事業費 313.8百万円【R3当初予算額:353.0百万円(△39.2百万円)】 [一部新規]

新規就農者の確保・定着を図るため、就農前の研修や就農直後の経営確立、雇用就農の促進に要する経費を補助します。

- ・いわてみどりの食料システム戦略推進事業費 19.0百万円 [新規]

「みどりの食料システム戦略」に基づく持続可能な農法を推進するため、栽培体系のグリーン化や有機農業の導入等を支援します。

- ・いわての食財戦略的海外輸出展開事業費 33.0百万円【R3当初予算額:15.0百万円(+18.0百万円)】

県産農林水産物の輸出拡大を図るため、県内事業者の輸出力強化を目的とした戦略の策定・実行にかかる経費を補助します。

- ・いわて地域農業マスタープラン実践支援事業費 188.0百万円【R3当初予算額:185.6百万円(+2.4百万円)】

「地域農業マスタープラン」の実現に向け、地域の中心経営体の規模拡大や、地域農業をけん引するリーディング経営体の育成などに必要な機械・施設の整備等を支援します。



## ① 通常分

### ・日本一の美味しいお米の国づくり推進事業費 38.6百万円【R3当初予算額:62.0百万円(△23.4百万円)】

県オリジナル水稻品種を核とした県産米のブランド確立に向けて、高品質・良食味安定生産の推進、販路の開拓、米消費拡大及び消費者の評価・認知度の向上の取組を実施します。

### ・鳥獣被害防止総合対策事業費 319.2百万円【R3当初予算額:248.0百万円(+71.2百万円)】

野生鳥獣による農作物被害を防止するため、有害捕獲や恒久電気柵等の設置、地域全体で行う被害防止活動を支援します。

### ・水田フル活用農業高度化プロジェクト事業費 45.7百万円【R3当初予算額:614.7百万円(△569.0百万円)】

水田を活用した収益性の高い農業を確立するため、主食用米から飼料用米や野菜等への作付転換を促進するとともに、ICTの活用による労働生産性の高い経営体を育成します。

### ・いわて牛産地育成革新技術推進事業費 6.8百万円【R3当初予算額:7.2百万円(△0.4百万円)】

いわて牛の産地力強化を図るため、ゲノム解析技術を活用し、効率的に産肉能力の優れた県有種雄牛を造成します。

### ・いわてモーモープロジェクト推進事業費 32.1百万円【R3当初予算額:19.9百万円(+12.2百万円)】

「いわて牛」のブランド力の強化のため、全国和牛能力共進会の上位入賞に向けた取組等を推進します。

### ・豚熱予防的ワクチン接種事業費 414.5百万円【R3当初予算額:280.5百万円(+134.0百万円)】

養豚農場における豚熱の発生防止を図るため、飼養豚への豚熱ワクチン接種及び免疫獲得状況の調査を実施します。

### ・経営体育成基盤整備事業費 1,636.6百万円【R3当初予算額:3,360.0百万円(△1,723.4百万円)】

地域の中心となる経営体の育成を図るため、ほ場の大区画化や排水改良など生産基盤の整備と担い手への農地利用集積を一体的に推進します。

### ・基幹水利施設ストックマネジメント事業費 1,058.5百万円【R3当初予算額:961.4百万円(+97.1百万円)】

基幹的農業水利施設の長寿命化を図るため、機能保全計画の策定と機能保全対策工事を実施します。

### ・全国植樹祭開催準備費 232.5百万円【R3当初予算額:23.4百万円(+209.1百万円)】

本県で開催される全国植樹祭の開催(令和5年)に向け、第73回全国植樹祭岩手県実行委員会の運営等開催準備を行います。

### ・いわての森林づくり推進事業費(いわて環境の森整備事業費) 781.5百万円【R3当初予算額:760.7百万円(+20.8百万円)】

森林の持つ公益的機能を持続的に発揮させるため、公益上重要な森林において、針葉樹と広葉樹の混交林化を進める強度間伐や伐採跡地への植栽のほか、森林整備に必要な作業道の開設や気象被害を受けた森林の整備等を支援します。

## ① 通常分

### ・いわて林業アカデミー運営事業費 49.6百万円【R3当初予算額:45.4百万円(+4.2百万円)】

新たな林業就業者を確保するため、林業に関する知識・技術を習得できる「いわて林業アカデミー」を運営します。

### ・松くい虫等防除事業費 173.2百万円【R3当初予算額:184.1百万円(△10.9百万円)】

松林及び広葉樹林を松くい虫及びナラ枯れ被害から守るため、松くい虫被害防除監視員等の設置や被害木の駆除、被害発生の予防等を実施します。

### ・いわて水産アカデミー運営支援事業費 3.4百万円【R3当初予算額:5.3百万円(△1.9百万円)】

新たな漁業就業者を確保するため、生産技術や経営手法を習得できる「いわて水産アカデミー」を運営します。

### ・水産生産基盤整備事業費 513.2百万円【R3当初予算額:345.0百万円(+168.2百万円)】

水産物の安定供給に資する漁港機能の向上を図るため、防波堤、護岸等を整備します。

## ② 震災対応分

### ・鳥獣被害防止総合対策事業費 5.1百万円【R3当初予算額:5.1百万円(0.0百万円)】

食肉加工を目的とするニホンジカの放射性物質検査を実施します。

### ・特用林産施設等体制整備事業費補助 86.8百万円【R3当初予算額:83.5百万円(+3.3百万円)】

しいたけ生産者の経営基盤の強化を図るため、しいたけ原木等の生産資材の導入や簡易ハウスの整備を支援します。

### ・特用林産物放射性物質調査事業費(きのこ原木等処理事業費補助) 23.7百万円【R3当初予算額:43.8百万円(△20.1百万円)】

原木しいたけ産地の再生を図るため、使用自粛となったしいたけ原木及びほだ木の処理や、落葉層除去等ほだ場の生産環境整備を支援します。

### ・漁業担い手確保・育成総合対策事業費 6.8百万円【R3当初予算額:6.9百万円(△0.1百万円)】

水産業の復興を担う漁業者の育成等を図るため、地域が一体となった就業希望者の受入体制を構築し、研修会や漁業者への技術指導などの取組を実施します。

### ・さけ稚魚購入放流事業費補助 352.6百万円【R3当初予算額:359.0百万円(△6.4百万円)】

サケ資源の回復を図るため、稚魚の生産・放流等に要する経費を補助します。

(注)R4年度当初要求額は、部局から提出された予算要求額等であり、今後、事業内容の精査等により変更となることがあります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（県土整備部）

【照会先（担当室課）】  
県土整備企画室（企画担当）  
電話：019-629-5852

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算（要求額）	78,059.8	62,464.9	15,594.9	25.0
うち震災対応分	3,837.0	5,278.3	△1,441.3	△27.3

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

県土整備部では、次の事項を重点施策と位置付け、予算要求を行っています。

- ・平成28年台風第10号、令和元年台風第19号などにより被災した施設の早期復旧等
- ・安全・安心を支える社会資本の整備
- ・生活を支える社会資本の良好な維持管理

## 3. 主な事業内容

### ① 通常分

- ・**建設業総合対策事業費 17.7百万円【R3当初予算額：18.6百万円（△0.9百万円）】**

経営基盤強化や新分野への進出、女性が働きやすい職場づくりなどに取り組む建設企業を支援します。

- ・**空港整備費 613.1百万円【R3当初予算額：562.4百万円（+50.7百万円）】**

航空機の安全運航のため、滑走路の舗装補修など空港施設の整備を行います。

- ・**道路環境改善事業費 8,034.3百万円【R3当初予算額：7,670.0百万円（+364.3百万円）】**

歩道の整備や道路・橋りょうの補修などの道路環境の改善を行います。

- ・**地域連携道路整備事業費 4,710.9百万円【R3当初予算額：5,095.7百万円（△384.8百万円）】**

現道の拡幅、線形の改良、バイパスの建設などの道路整備を行います。

- ・**河川改修事業費 11,202.6百万円【R3当初予算額：7,779.4百万円（+3,423.2百万円）】**

平成28年台風第10号により被災した河川や、洪水被害の防止・軽減を図るため、浸水被害が生じるおそれのある河川を改修・整備します。

## ① 通常分

### ・砂防事業費 3,689.4百万円【R3当初予算額:1,219.3百万円(+2,470.1百万円)】

土石流による被害を防止するための砂防堰堤等の整備や火山噴火緊急減災対策砂防計画の策定を行います。  
令和元年台風第19号等により土石流が発生した箇所について砂防堰堤等の整備を行います。

### ・港湾施設改良事業費 365.4百万円【R3当初予算額:45.0百万円(+320.4百万円)】

重要港湾における長寿命化のための施設修繕を行います。

### ・都市計画道路整備事業費 896.4百万円【R3当初予算額:646.6百万円(+249.8百万円)】

円滑な都市交通を確保するため、市街地における混雑の緩和に向けた道路整備を行います。

### ・浄化槽設置整備事業費補助 147.7百万円【R3当初予算額:122.0百万円(+25.7百万円)】

快適な生活環境を確保するため、浄化槽の整備に要する経費の一部を補助します。

### ・住宅ストックリノベーション事業費 22.2百万円【R3当初予算額:22.2百万円(0.0百万円)】

県産木材を活用した岩手型住宅などの良質な住宅ストックの形成を支援します。

### ・河川等災害復旧事業費 9,651.1百万円【R3当初予算額:3,170.0百万円(+6,481.1百万円)】

被災した河川、道路等の公共土木施設の災害復旧を実施します。

### ・道路・河川等維持修繕関係予算 9,403.9百万円【R3当初予算額:8,313.4百万円(+1,090.5百万円)】

社会資本の計画的・効果的な維持管理を実現するため、道路や河川等公共施設の維持修繕を推進します。

## ② 震災対応分

### ・河川等災害復旧事業費 3,503.8百万円【R3当初予算額:3,376.4百万円(+127.4百万円)】

被災した河川の災害復旧を実施します。

### ・生活再建住宅支援事業費補助 104.0百万円【R3当初予算額:117.0百万円(△13.0百万円)】

被災者の住宅再建を促進するため、新築工事に係る経費の一部を補助します。

(注)R4年度当初予算要求額は、各部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となることがあります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（ILC推進局）

【照会先（担当室課）】  
企画総務課（企画担当）  
電話：019-629-5215

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算（要求額）	240.2	247.0	△6.8	△2.8
うち震災対応分	110.8	101.2	9.6	9.5

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

ILC推進局では、国際リニアコライダー（ILC）の実現に向け、いわて県民計画（2019～2028）に掲げる「ILCプロジェクト」の推進に要する経費について、予算要求を行っています。

- ・国際研究都市の形成支援
- ・イノベーションの創出
- ・ILCによるエコ社会の実現
- ・海外研究者の受入れ環境整備
- ・交流人口拡大と地域の科学技術教育水準の向上

## 3. 主な事業内容

### ② 震災対応分

・ILC推進事業費 110.8百万円【R3当初予算額：101.2百万円（+9.6百万円）】[一部新規]

国際リニアコライダー（ILC）の実現に向け、研究者や関係団体等と連携、協力し、建設準備に必要となる具体的な調査検討や県内企業の加速器関連技術の開発支援、国内外への情報発信等の取組を推進します。

（注）R4年度当初予算要求額は、部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となることがあります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（警察本部）

【照会先（担当室課）】  
担当室課：会計課（予算担当）  
電話：019-653-0110

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算（要求額）	28,736.8	30,647.7	△1,910.9	△6.2
うち震災対応分	—	—	—	—

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

警察本部では、次の事項を重点施策と位置付け、予算要求を行っています。

- ・地域ぐるみでの防犯意識の高揚に向けた取組の推進
- ・犯罪被害者を支える社会づくりの推進
- ・少年の非行防止と保護対策の推進
- ・交通事故抑止対策の推進
- ・治安基盤の強化

## 3. 主な事業内容

### ① 通常分

#### ・全国植樹祭開催に伴う対策事業費 43.3百万円 [新規]

第73回全国植樹祭における安全・安心を確保するため、関係機関・団体と連携し、テロの未然防止等警備諸対策の取組を推進します。

#### ・特殊詐欺被害予防対策費 13.3百万円【R3当初予算額:13.7百万円(△0.4百万円)】

特殊詐欺被害抑止のため、関係機関等と連携し、高齢者等に対する効果的な広報啓発活動を推進します。

#### ・交通安全施設整備費 837.5百万円【R3当初予算額:783.9百万円(+53.6百万円)】

交通の安全と円滑を確保するため、交通危険箇所への信号機等交通安全施設の整備、老朽施設の更新及び交通管制機能の高度化等を推進します。

#### ・県警ヘリコプター格納庫等整備費 703.5百万円【R3当初予算額:4.5百万円(+699.0百万円)】

現有機の更新に伴い導入された中型ヘリコプターの受け入れ体制を確保するため、格納庫等の移転新築整備を推進します。

(注)R4年度当初予算要求額は、部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となる場合があります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（教育委員会）

【照会先（担当室課）】  
教育企画室（予算財務担当）  
電話：019-629-6150

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
当初予算(要求額)	129,653.6	133,382.6	△3,729.0	△2.8
うち震災対応分	1,796.0	2,012.1	△216.1	△10.7

## 2. 令和4年度当初予算要求の考え方

教育委員会では、次の事項を重点施策と位置付け、予算要求を行っています。

- ・東日本大震災津波からの教育の復興
- ・「学校教育」及び「社会教育・家庭教育」の充実
- ・安全・安心な教育環境の整備
- ・ICTの活用や地域との連携・協働による岩手の未来をけん引する人材の育成

## 3. 主な事業内容

### ① 通常分

- ・いわて幼児教育センター運営費 13.9百万円【R3当初予算額:1.3百万円(+12.6百万円)】 [一部新規]

幼児期における教育の質の向上を図るため、いわて幼児教育センターを新たに設置し、幼児教育専門員による市町村の幼児教育アドバイザーの養成や訪問支援等を実施し、施設類型を超えた就学前教育推進体制を構築します。

- ・いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(ネットワーク共創事業) 18.0百万円 [新規]

「高校魅力化」の取組を全県に展開するため、外部人材の活用による高校及び地域の魅力化の取組支援等を実施し、県外生の受け入れを推進します。

- ・いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業) 16.6百万円 [新規]

高校と自治体や地元企業・大学等が協働し、地域や地域産業の持つ魅力や課題等に触れながら探究的に学ぶ機会を共創する魅力ある学校づくりへの取組を推進します。

- ・いわて進学支援ネットワーク事業費(探究プログラム事業) 16.5百万円【R3当初予算額:20.0百万円(△3.5百万円)】

理科・数学の学力向上と科学的思考力の育成を図るため、探究プログラム重点校における理数教科に関する探究的な学習を実施します。

## ① 通常分

### ・遠隔教育ネットワーク構築事業費 5.7百万円【R3当初予算額:14.8百万円(△9.1百万円)】

生徒のニーズに応じた質の高い教育の充実を図るため、総合教育センターから小規模校5校への教育課程内(単位認定)での授業配信を実施します。

### ・いわて学びの改革研究・普及事業費 32.3百万円【R3当初予算額:33.2百万円(△0.9百万円)】

ICTを活用した授業改善を図るため、大学と連携した実証研究を実施し、その研究成果の全県への波及に取り組みます。

### ・学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助 142.0百万円【R3当初予算額:138.9百万円(+3.1百万円)】

地域の人材を活用した放課後の安全・安心な居場所づくりや家庭教育の支援など、学校・家庭・地域が連携した取組を推進します。

### ・地域部活動推進実践研究事業費 9.4百万円【R3当初予算額:2.9百万円(+6.5百万円)】[一部新規]

地域部活動を推進するため、実践研究を行うとともに、新たに地域移行支援コーディネーターによる研究成果の普及・発信を行います。

### ・施設整備費(特別支援学校施設整備事業) 605.2百万円【R3当初予算額:2,035.8百万円(△1,430.6百万円)】

特別支援学校の教育環境の充実を図るため、令和4年8月開校予定の釜石祥雲支援学校の移転・新築工事を実施します。

## ② 震災対応分

### ・いわての復興教育推進事業費 47.5百万円【R3当初予算額:56.6百万円(△9.1百万円)】[一部新規]

復興教育副読本やその内容を踏まえた絵本を活用しながら、全県的な復興教育を推進するとともに、新たに「いわての復興教育プログラム」第3版と絵本の英語版を作成します。

### ・いわての学び希望基金奨学金給付事業費 207.9百万円【R3当初予算額:224.7百万円(△16.8百万円)】

東日本大震災津波で親を失った児童生徒等が、経済的な理由により就学を断念することのないよう、奨学金を給付します。

### ・いわての学び希望基金大学等進学支援一時金給付事業費 85.5百万円【R3当初予算額:91.2百万円(△5.7百万円)】

東日本大震災津波で被災した低所得世帯の高校生等が、経済的な理由により大学等への進学を断念することのないよう、進学に伴い必要となる費用の一部を給付します。

### ・文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業) 485.8百万円【R3当初予算額:494.9百万円(△9.1百万円)】

被災した市町村の博物館等の再興を図るため、博物館が所蔵する文化財等(古文書、生物標本等)の修復や安定的な保管を支援します。

(注)R4年度当初予算要求額は、部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となることがあります。



# 令和4年度 当初予算要求の概要（各局・各委員会）

## ○ 予算要求額

（単位：百万円、％）

	区 分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
①出納局	当初予算(要求額)	1,092.8	1,022.0	70.8	6.9
	うち震災対応分	4.4	4.3	0.1	2.3
②議会事務局	当初予算(要求額)	1,345.4	1,415.7	△70.3	△5.0
	うち震災対応分	—	—	—	—
③選挙管理委員会	当初予算(要求額)	904.6	943.7	△39.1	△4.1
	うち震災対応分	—	—	—	—
④人事委員会事務局	当初予算(要求額)	152.0	155.2	△3.2	△2.1
	うち震災対応分	—	—	—	—
⑤監査委員事務局	当初予算(要求額)	246.2	257.3	△11.1	△4.3
	うち震災対応分	—	—	—	—
⑥労働委員会事務局	当初予算(要求額)	120.6	120.9	△0.3	△0.2
	うち震災対応分	—	—	—	—
合 計	当初予算(要求額)	3,861.6	3,914.8	△53.2	△1.4
	うち震災対応分	4.4	4.3	0.1	2.3

<p>【照会先（担当室課）】</p> <p>①出納局総務課（総務担当） 電話：019-629-5967</p> <p>②議会事務局総務課（総務経理担当） 電話：019-629-6006</p> <p>③選挙管理委員会事務局（選挙担当） 電話：019-629-5238</p> <p>④人事委員会事務局職員課（総務・任用担当） 電話：019-629-6236</p> <p>⑤監査委員事務局監査第一課（総務担当） 電話：019-629-6252</p> <p>⑥労働委員会審査調整課（総務担当） 電話：019-629-6271</p>
--

（注）R4年度当初予算要求額は、部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となることがあります。

# 令和4年度 当初予算要求の概要（広域振興局）

## 1. 予算要求額

（単位：百万円、％）

区分	R4年度当初 予算要求額	R3年度当初 予算額	比較増減	増減率
①盛岡広域振興局	19.5	20.2	△0.7	△3.5
②県南広域振興局	18.9	18.9	0	0
③沿岸広域振興局	27.3	17.7	9.6	54.2
④県北広域振興局	35.6	29.4	6.2	21.1
合計	101.3	86.2	15.1	17.5

### 【照会先（担当室課）】

- ①盛岡広域振興局（経営企画部）  
電話：019-629-6510
- ②県南広域振興局（経営企画部）  
電話：0197-22-2812
- ③沿岸広域振興局（経営企画部）  
電話：0193-25-2701
- ④県北広域振興局（経営企画部）  
電話：0194-66-9670

## 2. 主な事業内容

### ① 盛岡広域振興局

- ・みらいもりおかプロジェクト事業費 9.6百万円【R3当初予算額:5.2百万円(+4.4百万円)】 [一部新規]

IT産業・ヘルスケア関連産業の育成やものづくり産業の振興のため、企業に対する産学官連携及び新卒者の人材確保の支援を行うほか、スマート農業技術の導入を促進します。

### ② 県南広域振興局

- ・いわて県南移住定住総合コーディネーター事業費 10.2百万円 [新規]

県南地域の強みを生かした人口減少対策について市町や関係団体と連携して取り組みます。

### ③ 沿岸広域振興局

- ・県産サーモン養殖確立支援事業費 11.0百万円 [新規]

持続的な県産サーモン類の養殖確立に向けた技術開発及び販路確保に向けたPR等に取り組みます。

### ④ 県北広域振興局

- ・北いわて再生可能エネルギー推進事業費 2.7百万円 [新規]

北いわての強みである再生可能エネルギーの導入ポテンシャルを最大限地域振興に生かすため、国の施策と連動した取組等を推進します。

注1 各部局で要求している事業費の再掲です。公共事業費は含んでいません。

注2 R4年度当初予算要求額は、各部局から提出された予算要求額であり、今後、事業内容の精査等により変更となることがあります。